国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

つなごう肱川
～上流から下流まで・未来へ・子どもたちへ～

令和４年９月５日
大洲河川国道事務所

地元小学生が水辺の生物で水質調査

～小田小学校児童と水生生物を捕まえて水質を判定～

下記のとおり、内子町立小田小学校の児童が水生生物調査を行います。

この調査では、川に住む水生昆虫や貝、カニなどの生き物を採集し、その種類を調べることで、おおまかな河川の水質を判定することができます。

このような取り組みは、子どもや一般の人にもわかりやすく、調査に専門的な機材を要しないことから、誰でも簡単に参加できるという利点があります。さらに、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会にもなります。

記

（小田小学校）

日　　時：令和４年９月12日（月）13時40分～15時00分（1時間半程度）

場　　所：小田川（小田小学校横）※別紙位置図参照

参加人数：内子町立小田小学校　5、6年生　17名

詳しくは別紙を参照してください。

取材いただく場合は、天候などにより延期・中止・時間等を変更する場合がありますので、前日までにかならずお問い合わせください。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1　南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問合せ先：

国土交通省　四国地方整備局　大洲河川国道事務所

副所長(河川)　　壬生　恵庫　　（内線：204）

◎工務第一課長　　宮田　晃　　（内線：311）

ＴＥＬ:0893-24-5185

ＦＡＸ:0893-24-2059

◎：主な問い合わせ先

別紙

水生生物調査について

1. 目　的

本調査は河川の水生生物の分布状況を調べることにより、河川の水質状況を概観し、水環境管理の推進に役立てるとともに、地元小学校児童の参加を得て実施することにより、郷土の川への関心を深め、水質保全・河川愛護思想の普及・啓発を図ることを目的として実施するものです。

2. 調査概要

1）調査方法

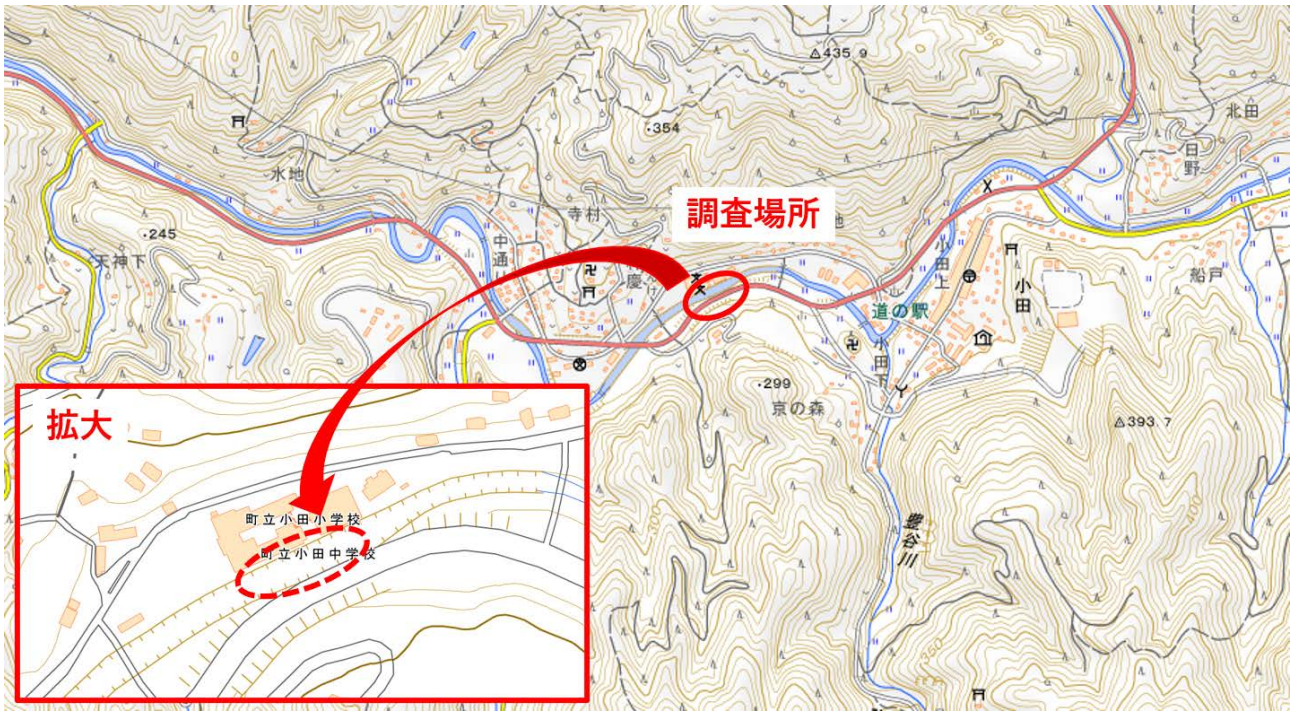
調査の方法は、川に入り、こぶし大から頭大の石に付着している水生生物を採取し、その種類や数によって水質を判定します。

2）水質判定

水質の判定は、カワゲラ等の出現した生物の種類が多い水質階級をもって判断します。

・水質階級　Ⅰ　き れ い な 水　　・水質階級　Ⅱ　や や き れ い な 水
・水質階級　Ⅲ　き た な い 水　　・水質階級　Ⅳ　と て も き た な い 水

3. 小田小学校　調査場所



この地図は、地理院地図（国土地理院）に加筆したものである。

＊天候などにより延期・中止・時間等を変更する場合がありますので、前日までにかならずお問い合わせください。